

(様式例第11)

地独小病第162号
令和7年9月29日

栃木県知事 殿

住 所 栃木県小山市大字神鳥谷2251番地1
申請者 地方独立行政法人 新小山市民病院
氏 名 理事長 佐 田 尚 宏

新小山市民病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒323-0827 栃木県小山市大字神鳥谷2251番地1
氏名	地方独立行政法人新小山市民病院

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

新小山市民病院

3 所在の場所

〒323-0827 栃木県小山市大字神鳥谷2251番地1
電話 (0285) 36-0200

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	300床	300床



5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 12床 連続心拍出量測定装置・生体情報ベッドサイドモニタ・人工呼吸器・心電計・超音波画像診断装置・血圧監視装置・輸液ポンプ・低圧持続吸引器 等
化学検査室	(主な設備) ミニチューブシーラー・ユニット恒温槽・自動赤血球沈降速度測定器・テーブルトップ遠心機・全自動血球測定装置・血液ガス分析装置・全自動輸血検査測定装置・全自動尿分析装置・全自動尿中有形成分分析装置・全自動生化学分析装置・全自動血液凝固測定装置・自動採血管準備装置・グリコヘモグロビン分析装置・全自動血糖分析装置・救急カート・重量式減圧採血器・便潜血測定装置・卓上遠心機・プレートミキサー・全自動免疫測定装置・全自動血球洗浄遠心機 等
細菌検査室	(主な設備) 全自動血液培養検査装置・プログラム高温低音槽・リアルタイム濁度測定装置増幅ユニット・バイオハザード対策用キャビネット・研究用冷蔵庫・トノキシメーター・リアルタイム濁度測定装置 等
病理検査室	(主な設備) 臓器保存用真空包装機・パラフィンブロック冷却装置・凍結ブロック作成装置・ホルムアルデヒド対策機器・パラフィン伸展機・凍結組織切片作成装置・自動免疫染色装置・自動細胞収集装置・密閉式自動固定包埋装置・局所排気装置・自動染色装置・ディスペンシング・コンソール 自動制御恒温装置 スライドプリンター・カセットプリンター・ラベルプリンター・薬用冷蔵シューケース・超低音フリーザー 等
病理解剖室	(主な設備) 解剖台・強制排気付切出台兼流し台・臓器撮影装置
研究室	(主な設備) 電子カルテ用PC2台、インターネット接続環境
講義室	室数 1 室 収容定員 108人
図書室	数 1 室 蔵所数 3,200冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 3.90㎡ [共用室の場合] —

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率		86.0%	算定 期間	2024年4月1日～2025年3月31日	
地域医療支援病院 逆紹介率		84.4%			
算出 根拠	A：紹介患者の数			13,104人	
	B：初診患者の数			15,231人	
	C：逆紹介患者の数			12,861人	

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏 名	勤務の態様		勤務時間	備考
			常勤 非常勤	専従 非専従		
1	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
2	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
3	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週7.75時間	
4	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週7.75時間	
5	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週7.75時間	
6	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	24時間	月1回日宿直
7	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	24時間	月1回日宿直
8	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	救急科部長
9	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	他56名
10	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週15.25時間	他3名
11	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週8.75時間	他1名
12	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	他2名
13	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	他38名
14	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週35時間	他1名
15	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週33.75時間	他2名
16	薬剤師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	他13名
17	診療放射線技師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	他13名
18	診療放射線技師		常勤 非常勤	専従 非専従	週31.25時間	

19	臨床検査技師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	他21名
20	臨床検査技師		常勤 非常勤	専従 非専従	週32.5時間	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	15床
専用病床	20床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急科 (初療室、観察室)	180.48㎡	(主な設備) 無影灯・エマージェンシーストレッチャー・シリンドポンプ・ 除細動器・輸液ポンプ・内視鏡システム・ 心電計・真空吸引器・ 生体情報ベッドサイドモニター・ 超音波画像診断装置・レステレーター	可
手術室 (OP1～5、 リハビリルーム)	253.04㎡	(主な設備) 手術台・無影灯・生体情報ベッドサイドモニター・ 人工呼吸器・麻酔器・腹腔鏡システム・ 超音波画像診断装置・血液ガス分析装置	可
放射線科 (CT・一般撮影室、 CT室、MRI室、マンモ・ 骨密度検査室、X-TV 室、一般撮影室(2 室)、血管撮影室、 心臓カテーテル室)	337.25㎡	(主な設備) MRI・CT撮影装置・X線TV撮影装置・ 乳房撮影装置・骨密度測定装置・ 一般撮影装置・FPDシステム・血管撮影装置・ 大動脈バルーンポンプシステム・ 血管内超音波診療装置・除細動器・ホリグラフ・ 血圧監視装置	可
検体検査室	127.27㎡	(主な設備) 輸血検査装置・分光光度計・ 全自動血球分析装置・生化学自動分析装置・純 水装置・実験台・自動免疫測定装置・ 血液凝固分析装置・血液ガス分析装置・ 遠心機・HbA1c測定装置	可

4 備考

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4, 410人 (2, 199人)
上記以外の救急患者の数	3, 744人 (822人)
合計	8, 154人 (3, 021人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

- ① コンピュータ断層撮影(CT): 479件
- ② 磁気共鳴コンピュータ断層撮影(MRI): 481件
- ③ X線骨密度測定: 1件
- ④ 内視鏡検査(胃カメラ): 0件
- ⑤ 超音波検査(腹部エコー・心エコー): 2件
 - ・共同利用を行った医療機関: 41件
 - ・共同利用を行った医療機関延べ数: 966件
 - ・うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数: 966件
 - ・共同利用に係る病床利用率: 0%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

- ① コンピュータ断層撮影(CT)
- ② 磁気共鳴コンピュータ断層撮影(MRI)
- ③ X線骨密度測定:
- ④ 内視鏡検査(胃カメラ)
- ⑤ 超音波検査(腹部エコー・心エコー)

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ ・無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名:

職 種: 事務(医療連携室長)

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙 「地域連携協力施設(共同利用登録医療機関一覧)参照 計160医療機関				なし

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数

0床

新小山市民病院共同利用実施要綱

策定日：平成27年5月21日

改定日：令和2年8月11日

1. (目的)

この要綱は新小山市民病院（以下「病院」という）に共同利用医療機器を設置し、もって病院と地域連携登録医療機関（以下「登録医」という）が相互協力し、地域医療に貢献することを目的とする。

2. (定義)

(1) 「共同利用医療機器」とは、以下の医療機器とする。

- 1.内視鏡装置
- 2.超音波検査装置
- 3.磁気共鳴コンピュータ断層撮影装置(MRI)
- 4.コンピュータ断層撮影(CT)
- 5.X線骨密度測定

3. (登録医療機関)

共同利用機器を利用しようとする医療機関は承諾書に所定の事項を記入した上、提出しなければならない。

4. (検査)

- (1) 登録医が患者の検査を希望するときには、内視鏡検査・超音波検査については医療連携室、磁気共鳴コンピュータ断層撮影(MRI)・コンピュータ断層撮影(CT)・X線骨密度測定については放射線科に連絡するものとする。連絡を受けた医療連携室の担当者または放射線科の担当者は予約状況を確認の上、検査予約を入れ、当該登録医に伝える。
- (2) 検査予約の連絡を受けた登録医は患者に共同利用についての説明、了解を得たのち、診療情報提供書を持参させるものとする。

5 (症例検討会)

共同利用の関係者は、必要の都度症例検討会を開催し、研鑽に努めるものとする。

6. (その他)

- (1) この要綱に定めるもののほか共同利用医療機器の取扱いについて必要な事項は院長のもと関係者を招集し協議し定めるものとする。

地域連携協力施設(共同利用登録医療機関)一覧

No.	医療機関名	院長名	住所	主な診療科	経営上の関係
1	青い鳥こどもクリニック	松下 卓	小山市城東2-19-2	小児科、アレルギー科	無
2	青木医院	青木 成史	小山市網戸1850	内科、消化器内科、内視鏡内科、外科、肛門外科	無
3	あかざわクリニック	赤澤 訓	小山市土塔234-47	ペインクリニック内科、漢方内科	無
4	暁クリニック	稲葉 俊三	小山市犬塚62	消化器内科、内科、外科、小児科、肛門外科、乳腺外科	無
5	浅井こどもクリニック	浅井 秀実	小山市西城南4-4-4	小児科、アレルギー科	無
6	朝日病院	朝日 公彦	小山市喜沢660	精神科、心療内科、内科	無
7	あらい内科クリニック	新井 高正	小山市城北3-2-5	内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、人間ドック	無
8	あらやま医院	荒山 由香	小山市大行寺1069-1	整形外科、内科、リハビリテーション科	無
9	安西・古谷クリニック	安西 信行	小山市中央町2-8-24	循環器科、内科	無
10	五十嵐医院	五十嵐 丈人	小山市本郷町2-6-12	耳鼻咽喉科	無
11	いしい整形外科	石井 隆夫	小山市犬塚1-21-8	整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科	無
12	石田耳鼻咽喉科クリニック	石田 孝	小山市乙女2-7-2	耳鼻咽喉科	無
13	樹レディースクリニック	佐山 雅昭	小山市神鳥谷5-18-15	産婦人科	無
14	いぬづか眼科	和泉田 真作	小山市犬塚8-10-20	眼科	無
15	犬塚クリニック	小園江 和之	小山市犬塚5-14-10	内科、漢方内科	無
16	おおきこどもクリニック	大木 丈弘	小山市美しが丘3-35-3	小児科、アレルギー科	無
17	岡整形外科	岡 亨	小山市駅東通り1-47-18	整形外科	無
18	おぐら内科・腎クリニック	小倉 学	小山市雨ヶ谷町24	内科、糖尿病内科、循環器内科、腎臓内科(人工透析)、アレルギー科	無
19	おだ内科クリニック	小田 和彦	小山市羽川524-4	循環器内科、内科	無
20	小野寺クリニック	小野寺 文雄	小山市中久喜1615-3	麻酔科、内科、整形外科	無
21	小山イーストクリニック	鈴木 國弘	小山市駅東通り1-32-1	内科、糖尿病内科、甲状腺内科、内分泌内科、循環器科、小児科、放射線科	無
22	小山クリニック	板井 紀郎	小山市栗宮1970-10	内科、人工透析	無
23	小山厚生病院	角田 尚久	小山市八幡町2-10-6	内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、皮膚泌尿器科	無
24	おやま城北クリニック	小坂 由道	小山市喜沢1475-328	整形外科、内科、皮膚科、外科	無
25	小山すぎの木クリニック	朝倉 伸司	小山市中久喜1113-1	内科(消化器/循環器/糖尿病/老年/胃腸/血液/内分泌/腎臓/内視鏡/人工透析)、皮膚科、脳神経外科、小児科、腎・泌尿器外来、CKD外来、整形外科、泌尿器科	無
26	小山ステーション脳神経外科・内科	宮田 五月	小山市駅東通り1-2-43	脳神経外科、内科、神経内科	無
27	小山整形外科内科	小黒 賢二	小山市雨ヶ谷753	整形外科、内科、脳神経外科、放射線科、リハビリテーション科、リウマチ科	無
28	小山整形外科内科クリニック	鮫島 康仁	小山市雨ヶ谷824-18	整形外科、内科、脳神経外科、放射線科、リハビリテーション科、リウマチ科	無
29	小山皮ふ科	藤平 尚弘	小山市城東1-2-31	皮膚科	無
30	小山福澤眼科	福澤 裕一	小山市東城南4-13	眼科	無
31	小山メンタルクリニック	尾崎 尚子	小山市駅東通り2-23-9	精神科、心療内科	無
32	柏木耳鼻咽喉科医院	柏木 博道	小山市駅東通り2-18-18 2F	耳鼻咽喉科、気管食道科	無
33	加藤クリニック	加藤 謙吉	小山市城東6-6-7	内科	無
34	菊部医院	三浦 久美子	小山市南飯田317-8	内科、神経内科、循環器科、脳神経外科、発熱外来	無
35	菊部小山南クリニック	柴 徳郎	小山市塚崎1503	胃腸科、内科、外科、肛門科	無
36	川田耳鼻咽喉科クリニック	川田 和己	小山市東城南4-6-4	耳鼻咽喉科	無
37	かわなご女性クリニック	川中子 信正	小山市駅東通り2-6-10	産婦人科、内科	無
38	川村内科医院	川村 肇	小山市駅南町5-16-8	内科、小児科、リウマチ科、アレルギー科	無
39	神野医院	横山 愛子	小山市下河原田694	内科、小児科、皮膚科	無
40	北村クリニック	北村 慶一	小山市城東5-1-17	外科、内科、消化器内科、消化器外科、肛門外科、整形外科	無
41	黒須整形外科医院	黒須 治一	小山市乙女2-12-8	整形外科、リハビリテーション科	無
42	光南病院	金子 公一	小山市乙女795	内科、外科、整形外科、アレルギー科、小児科、リウマチ科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、呼吸器科、消化器科、循環器科、肛門科、形成外科、糖尿病・内分泌内科、泌尿器科	無
43	こまれび心の診療所	羅田 享	小山市中央町3-7-1ロブレ7F	精神科、心療内科	無

No.	医療機関名	院長名	住所	主な診療科	経営上の関係
44	古谷野皮膚科泌尿器科	古谷野 誠	小山市若木町1-15-32	皮膚科、泌尿器科	無
45	近藤クリニック	近藤 類	小山市天神町1-9-22	内科、神経内科、放射線科、精神科、心療内科	無
46	斎藤眼科医院	斎藤 信一郎	小山市駅東通り2-28-17	眼科	無
47	さくらのクリニック	石田 暁宏	小山市卒島244-1	内科、耳鼻咽喉科、歯科、歯科口腔外科	無
48	サンフラワークリニック	福岡 偲	小山市出井1935-1	内科、小児科	無
49	篠原クリニック	篠原 秀樹	小山市花垣町1-2-19	外科、呼吸器内科、整形外科、消化器内科	無
50	城東メンタルクリニック	川田 昌弥	小山市城東6-3-12	精神科、心療内科	無
51	城南眼科クリニック	蘇 浩訓	小山市雨ヶ谷113-1	眼科	無
52	城南クリニック	大和田 敏雄	小山市西城南2-18-7	内科、胃腸内科、外科、整形外科、大腸・肛門外科	無
53	杉村病院	杉村 栄一	小山市城山町2-7-18	外科、内科、小児科、消化器内科、泌尿器科、循環器内科、皮膚科、整形外科、リハビリテーション科、漢方外来、女性内科	無
54	すずき整形外科	鈴木 愉	小山市喜沢438-1	整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科	無
55	須田医院	須田 誠	小山市間々田1489	内科、外科、胃腸科	無
56	関医院	篠田 裕美	小山市中久喜5-2-1	内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科	無
57	せき内科胃腸科クリニック	関 優	小山市喜沢667-153	内科、胃腸科、小児科	無
58	関根整形外科医院	関根 修一	小山市駅南町1-9-15	整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科	無
59	ソフィアホームケアクリニック	吉積 功	小山市土塔175-24	内科、外科	無
60	高岩内科医院	高岩 良明	小山市駅東通り2-38-13	内科、循環器科	無
61	田村整形外科	田村 興太郎	小山市若木町2-10-20	整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科	無
62	ちばクリニック	千葉 英男	小山市東城南5-6-10	消化器科、胃腸科、内科、外科、肛門科、乳腺外科	無
63	塚本耳鼻咽喉科医院	塚本 裕司	小山市中央町3-1-25	耳鼻咽喉科、アレルギー科	無
64	土谷医院	土谷 博之	小山市城山町2-4-26	内科、小児科	無
65	つちやカルディオクリニック	土谷 範昭	小山市東間々田2-103-3	内科、循環器内科、呼吸器内科、小児科	無
66	寺田クリニック	寺田 茂則	小山市粟宮47	循環器内科、内科	無
67	トータルクリニック寺門医院	寺門 道之	小山市駅南町1-17-18	内科、小児科、消化器内科、肛門外科、外科	無
68	所内科胃腸科クリニック	所 晋之助	小山市間々田1722-2	内科、消化器内科、小児科	無
69	豊嶋耳鼻咽喉科クリニック	豊嶋 勝	小山市神鳥谷1085-4	耳鼻咽喉科、気管食道科	無
70	としま内科クリニック	外島 正樹	小山市東城南5-4-3	内科、血液内科、感染症科	無
71	戸野塚内科医院	戸野塚 博	小山市下石塚471	内科	無
72	とみやまクリニック	富山 宗徳	小山市城北6-26-5	内科、皮膚科、アレルギー科	無
73	友井内科クリニック	塚田 錦治	小山市駅東通り1-3-3友井メディカルビル3-4F	内科、循環器科、アレルギー科、呼吸器科、消化器科、胃腸科、神経内科	無
74	友井皮膚科クリニック	塚田 篤子	小山市城山町3-2-17 3階	皮膚科	無
75	永山医院	永山 大二	小山市天神町2-12-22	内科、小児科	無
76	沼部医院	沼部 有宏	小山市城東6-14-9	内科、整形外科	無
77	能美内科外科クリニック	能美 明夫	小山市間々田26-3	内科、消化器外科	無
78	ハンディクリニック	坂口 敏夫	小山市西城南6-3-9	内科、外科、在宅医療	無
79	神鳥谷クリニック	原田 一哉	小山市神鳥谷1-19-1	泌尿器科、内科、小児科、皮膚科、整形外科、リハビリテーション科、漢方内科	無
80	福田医院	福田 一郎	小山市宮本町2-4-6	内科、消化器科、小児科	無
81	ふくだクリニック	福田 正巳	小山市西城南4-12-33	内科、小児科、胃腸科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、アレルギー科、皮膚科	無
82	ふくだ皮膚科クリニック	福田 博美	小山市東間々田2-36-2	皮膚科	無
83	富士見荘診療所	添野 文雄	小山市上石塚15	内科、外科	無
84	藤原クリニック	藤原 幸雄	小山市雨ヶ谷新田71-1	内科、循環器科、小児科、呼吸器科、アレルギー科	無
85	扶桑医院	添野 文雄	小山市扶桑1-2-1	内科、外科、小児科、消化器科、整形外科、放射線科	無
86	船田内科外科医院	船田 隆	小山市松沼578	内科、外科、小児科	無
87	星内科医院	星 朗	小山市喜沢399-4	内科、呼吸器科、小児科、アレルギー科、循環器科、消化器科	無
88	星野胃腸科外科医院	星野 敦	小山市粟宮745-1	内科、胃腸科、消化器科、小児科、外科、肛門科、放射線科、乳腺外科、内視鏡内科	無

No.	医療機関名	院長名	住所	主な診療科	経営上の関係
89	星野病院	星野 裕	小山市栗宮1-7-8	内科、胃腸科、外科、肛門科、泌尿器科、放射線科	無
90	松岡クリニック	松岡 淳一	小山市東城南1-3-32	精神科、心療内科	無
91	水越内科クリニック	水越 和夫	小山市雨ヶ谷506-1	呼吸器科、循環器科、消化器科、内科、リハビリテーション科	無
92	三田整形外科	三田 雄樹	小山市間々田18-1	整形外科、リハビリテーション科	無
93	みなみこどもクリニック	南 孝臣	小山市城東6-10-1	小児科、アレルギー科	無
94	みなみ整形外科	小倉 隆宏	小山市西城南3-16-7	整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科	無
95	南橋木病院	齊藤 力	小山市北飯田74-2	内科、呼吸器内科、アレルギー科、消化器内科、リウマチ科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科、循環器科、内分泌科、神経内科、消化器外科	無
96	森岡内科小児科医院	森岡 博昭	小山市乙女1-28-1	内科、小児科、消化器科、循環器科	無
97	もりや眼科	森谷 充雄	小山市駅東通り1-15-12	眼科	無
98	矢尾板クリニック	矢尾板 勤	小山市神島谷1799-1	内科、胃腸科、整形外科	無
99	やまなかレディースクリニック	山中 誠二	小山市若木町2-11-20	産科、婦人科	無
100	あんずの森クリニック	富山 剛	下野市仁良川1518-1	内科、消化器・肝臓内科、内視鏡内科	無
101	石橋総合病院	三室 淳	下野市下古山1-15-4	内科、消化器内科、脳神経内科、外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科	無
102	駅東ラッコ整形外科クリニック	山中 卓哉	下野市駅東6-1-22	整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科	無
103	海老原医院	海老原 聡	下野市小金井5-26-10	内科、消化器内科、皮膚科、アレルギー科、小児科、外科、放射線科	無
104	大栗内科	大栗 薫	下野市石橋811-1	循環器科、呼吸器科、内科、精神科、心療内科	無
105	岡田医院	岡田 正資	下野市小金井2976	内科、小児科、循環器科	無
106	おかべこどもクリニック	岡部 一郎	下野市緑5-17-12	小児科	無
107	小山富士見台病院	阿部 隆明	下野市柴1123	精神科、神経科、内科	無
108	回生眼科	山口 康三	下野市医大前4-8-1	眼科・漢方内科	無
109	かくた呼吸器内科・乳腺クリニック	角田 卓也	下野市石橋549	呼吸器内科、アレルギー科、一般内科、乳腺科、消化器内科、一般外科	無
110	柏木ひふ科	柏木 弓	下野市下古山1-1-10	皮膚科	無
111	木村クリニック	木村 孔三	下野市祇園1-7-7	産婦人科、内科、小児科	無
112	グリーンタウンクリニック	樽本 高壽	下野市祇園2-3-2	内科、腎臓内科(人工透析)、循環器内科、糖尿病・代謝内科、通所リハビリテーション	無
113	グリムこどもとアレルギーのクリニック	福田 典正	下野市下古山2-6-17	小児科、アレルギー科、皮膚科、内科	無
114	小金井中央病院	田中 宏幸	下野市小金井2-4-3	外科、消化器外科、内臓外科、大腸・肛門外科、乳腺外科、内科、消化器内科、腎臓内科(人工透析)、血液内科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌・代謝内科、整形外科、泌尿器科、皮膚科	無
115	国分寺さくらクリニック	村田 光延	下野市小金井777-1	耳鼻咽喉科、リウマチ科、アレルギー科、内科、循環器内科	無
116	佐藤内科	佐藤 慎	下野市石橋839-14	内科、消化器内科、小児科、耳鼻咽喉科、アレルギー科	無
117	自治医大ステーション・ブレインクリニック	池口 邦彦	下野市医大前3-2-2 3階	神経内科	無
118	島田クリニック	島田 健太郎	下野市石橋238-1	内科、消化器科、循環器科、小児科、整形外科	無
119	しもつけ痛みのクリニック	齋藤 和彦	下野市柴871-7	麻酔科(ペインクリニック)、内科	無
120	しもつけクリニック	井戸 健一	下野市薬師寺3171-4	内科、消化器内科	無
121	すずき内科・循環器科	鈴木 高明	下野市薬師寺2489-10	内科、循環器科、呼吸器科、消化器科、アレルギー科、放射線科	無
122	せいいかいメディカルクリニックOYAMA	小藤田 篤	下野市駅東5-13-16	内科、外科	無
123	たかはし眼科クリニック	高橋 康子	下野市小金井1-34-6	眼科	無
124	ちば整形外科クリニック	千葉 昭彦	下野市烏ヶ森1-4	整形外科、リウマチ、リハビリテーション科	無
125	中央クリニック	本山 光博	下野市薬師寺3154-2	産科、婦人科、泌尿器科、内科、麻酔科	無
126	つるかめ診療所	鶴岡 優子	下野市緑3-18-16	総合診療・内科・在宅医療	無
127	都丸整形外科	都丸 高志	下野市文教1-11-16	整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科	無
128	新島内科クリニック	新島 健司	下野市文教3-10-4	内科、脳神経内科、循環器内科	無
129	にじいろこども診療所	佐間田 一則	下野市小金井4-1-1	小児科、アレルギー科	無
130	ふじたクリニック	藤田 昌紀	下野市大光寺1丁目11-10	内科、外科、消化器内科(内視鏡)、大腸・肛門外科、小児科	無
131	藤原整形外科	阿久津 仁	下野市下古山3378-1	整形外科	無
132	まきた眼科 石橋院	蒔田 万理	下野市下古山88-1	眼科	無
133	南河内診療所	荒井 道	下野市薬師寺2472-15	内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、神経内科、皮膚科、リハビリテーション科	無

No.	医療機関名	院長名	住所	主な診療科	経営上の関係
134	宮澤クリニック	宮澤 功	下野市柴291-2	内科、小児科、皮膚科	無
135	薬師寺運動器クリニック	伊澤 一彦	下野市薬師寺3221-3	整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科	無
136	れもん在宅クリニック	吉住 直子	下野市祇園1丁目13-2	内科	無
137	若草クリニック	福田 修一	下野市緑2-3291-1	内科、糖尿病内科、内分泌内科、脂質代謝内科	無
138	和田マタニティクリニック	和田 智明	下野市小金井1-30-6	産科、婦人科	無
139	石川医院	石川 信	河内郡上三川町大山467-5	内科、小児科	無
140	うえのクリニック	上野 修市	河内郡上三川町上蒲生2312-3	内科、循環器内科、呼吸器内科、アレルギー科	無
141	川島内科小児科クリニック	川島 隆	河内郡上三川町上三川2863-1	内科、小児科、脾臓・消化器内科、アレルギー科、心療内科	無
142	小口内科小児科医院	小口 渉	河内郡上三川町上三川3358	内科、小児科、呼吸器科、消化器科、循環器科、皮膚科、放射線科	無
143	しらすぎ耳鼻咽喉科クリニック	今吉 正一郎	河内郡上三川町しらすぎ2-25-7	耳鼻咽喉科、アレルギー科、小児科	無
144	新上三川病院	大上 仁志	河内郡上三川町上三川2360	整形外科、内科、リハビリテーション科、泌尿器科、麻酔科、放射線科	無
145	せんば医院	仙波 真吾	河内郡上三川町しらすぎ1-19-8	内科、胃腸科、外科、肛門科	無
146	どんどんまもろうクリニックしらすぎ	小栗 淳	河内郡上三川町しらすぎ1-41-17	内科、循環器内科、消化器内科	無
147	藤沼医院	藤沼 秀光	河内郡上三川町梁347	内科、循環器科、呼吸器科、心療内科	無
148	本郷台医院	大出 弘幸	河内郡上三川町西汗1706-1	内科、麻酔科、リハビリテーション科	無
149	やの小児科医院	谷野 定之	河内郡上三川町上三川3446-3	小児科、内科	無
150	山崎医院	山崎 龍太郎	河内郡上三川町上蒲生2353-3	内科、小児科、放射線科	無
151	やまだ脳神経外科クリニック	山田 直司	河内郡上三川町西汗1701-47	脳神経外科、整形外科、内科、外科、リハビリテーション科	無
152	いなば内科クリニック	稲葉 利敬	下都賀郡野木町丸林583-3	糖尿病内科、内分泌内科、内科、小児科	無
153	岩崎医院	岩崎 裕子	下都賀郡野木町佐川野1806-1	内科、小児科、呼吸器科	無
154	菊池クリニック	菊池 宏典	下都賀郡野木町野渡245-2	内科、小児科、アレルギー科、心療内科、漢方内科	無
155	木村医院	木村 徹	下都賀郡野木町野渡2797-3	内科、循環器内科、呼吸器内科、アレルギー科	無
156	リハビリテーション花の舎病院	吉田 行弘	下都賀郡野木町南赤塚1196-1	リハビリテーション科、脳神経内科、内科	無
157	鹿野クリニック	鹿野 耕太	下都賀郡野木町丸林421-9	内科、胃腸内科、外科、肛門内科、小児科	無
158	寺内整形外科	寺内 由行	下都賀郡野木町友沼6507-1	整形外科、麻酔科、リハビリテーション科、リウマチ科	無
159	さくら診療所	遠乗 秀樹	下都賀郡野木町野渡1097	精神科、心療内科	無
160	野木病院	麦原 匡史	下都賀郡野木町友沼5320-2	内科、神経内科、外科、整形外科、小児科、眼科、リハビリテーション科、消化器科	無

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙

「令和6年度 地域の医療従事者への研修会実施報告」参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	27回
(2) (1) の合計研修者数	1,368人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 ☒・無

イ 研修委員会設置の有無 ☒・無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
				年	
				年	
	別紙 「令和6年度研修指導者一覧」参照			年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
多目的ホール	178.81㎡	(主な設備) 会議用テーブル・イス・スクリーン・ホワイトボード・ワイヤレスマイク・有線マイク・プロジェクタ

地域の医療従事者への研修会実施報告(令和6年度)

	実施日	テーマ	演題名	出席者		
				院外	院内	合計
1	R6.4.2	第55回 ポットラックカンファレンス 会場:新小山市民病院	「症例検討会」	31 会場 医師9名 歯科医師1名 Web 医師18名 薬剤師2名 その他1名	17 会場 医師7名 看護師1名 薬剤師4名 その他5名	48
2	R6.5.16	第48回 地域完結型医療・連携の会 Web Zoom利用 会場:新小山市民病院	各領域における紹介患者の症例検討会 ◆ 整形外科領域における紹介患者の症例報告 「当院における変形性膝関節症の治療」 発表者 整形外科副部長 ◆ 皮膚科領域における紹介患者の症例報告 「梅毒」 発表者 皮膚科部長 ◆ 形成外科領域における紹介患者の症例報告 「視力障害を呈した眼科底骨折三例の経験」 発表者 形成外科	22 会場 医師3名 Web 医師18名 その他1名	29 会場 医師17名 看護師8名 その他3名 Web 医師1名	51
3	R6.5.29	自治体病院共済会 Webセミナー 会場:新小山市民病院	「病院は人で成り立つ-地方独立行政法人新小山市民病院のBeReal-」 発表者	27 医師8名 看護師2名 その他17名	9 医師3名 その他6名	36
4	R6.6.4	第56回 ポットラックカンファレンス 会場:新小山市民病院	「症例検討会」	44 会場 医師4名 歯科医師4名 薬剤師2名 Web 医師25名 歯科医師2名 薬剤師3名 その他4名	16 会場 医師10名 看護師1名 その他4名 Web 医師1名	60
5	R6.6.11	「初夏から始める冬の脳卒中予防 早期発見から再発予防のポイント」 Web形式 会場:エヴァイン小山 プレミアムスイーツ	「春夏秋冬、抗血栓薬継続の重要性」 発表者	33 医師33名	1 医師1名 (1医師)	34
6	R6.6.26	脳卒中中の地域連携を深める会 Web形式 会場:自治医科大学 教育研究棟3階 中教室3	「脳卒中中の急性期治療と病診連携の実際」 発表者	23 医師23名	1 医師1名 (3医師)	24
7	R6.7.3	日常診療Up to Date 頭痛で困ったことはありませんか? Web形式 会場:プロム下野	「片頭痛の診断のポイントと治療」 発表者	24 医師23名 薬剤師1名	3 医師3名 (1医師) (1医師) (1医師)	27

	実施日	テーマ	演題名	出席者		
				院外	院内	合計
8	R6.7.13	第10回 PDナース・メディカルスタッフ研 修共催セミナー 会場:ライトキューブ宇都宮	「PDナース・メディカルスタッフ研修会」	166		166
				詳細不明		
9	R6.7.13	第10回 PDナース・メディカルスタッフ研 修会 会場:ライトキューブ宇都宮	「PDナース・メディカルスタッフ研修会」	149		149
				詳細不明		
10	R6.7.18	第49回 地域完結型医療・連携の会 Web Zoom利用 会場:新小山市市民病院	各領域における紹介患者の症例検討会 ◆ 外科領域における紹介患者の症例報告 「外側型盲腸周囲ヘルニアにより腸閉塞を来した症例」 発表者 外科 ◆ 耳鼻咽喉科領域における紹介患者の症例報告 「頸部リンパ節腫大で判明した中咽頭癌の1例」 発表者 耳鼻咽喉科 ◆ 循環器内科領域における紹介患者の症例報告 「高齢者の洞不全症候群に対して緊急でリードスペースメーカーを挿入した一例」 発表者 循環器内科	24	25	49
				会場 医師2名 Web 医師21名 その他1名	会場 医師13名 看護師7名 薬剤師1名 その他2名 Web 医師2名	
11	R6.8.6	第57回 ポットラックカンファレンス 会場:新小山市市民病院	「症例検討会」	34	10	44
				会場 医師4名 歯科医師2名 Web 医師21名 薬剤師3名 その他4名	会場 医師5名 看護師1名 その他3名 Web 医師1名	
12	R6.8.29	結城市医師会講演会 Web形式 会場:城西病院1階会議室	「レカネマブ登場後の認知症診療と医療連携について」 発表者	15		15
				詳細不明		
13	R6.9.10	スキルアップWebセミナー ～自分の目指す看護へ～ Web形式 会場:第一三共 宇都宮営業所	「看護師のスキルアップ」 発表者	26	1	27
				看護師26名	看護師1名 (看護師)	
14	R6.9.19	第50回 地域完結型医療・連携の会 Web Zoom利用 会場:新小山市市民病院	各領域における紹介患者の症例検討会 ◆ 脳神経内科領域における紹介患者の症例報告 「静注血栓溶解療法(rt-PA)により後遺症なく退院した92歳女性」 発表者 神経内科副部長 ◆ 眼科領域における紹介患者の症例報告 「糖尿病網膜症」 発表者 眼科 ◆ 糖尿病代謝内科領域における紹介患者の症例報告 「高血糖患者への外来での食事指導」 発表者 糖尿病・代謝内科	24	23	47
				会場 医師1名 Web 医師22名 その他1名	会場 医師13名 看護師5名 その他4名 Web 医師1名	
15	R6.10.1	第58回 ポットラックカンファレンス 会場:新小山市市民病院	「症例検討会」	37	12	49
				会場 医師8名 歯科医師2名 Web 医師23名 その他4名	会場 医師6名 看護師1名 その他3名 Web 医師2名	

	実施日	テーマ	演題名	出席者		
				院外	院内	合計
16	R6.11.21	第51回 地域完結型医療・連携の会 Web Zoom利用 会場:新小山市民病院	各領域における紹介患者の症例検討会 ◆ 脳神経外科領域における紹介患者の症例報告 「特発性正常圧水頭症」 発表者 脳神経外科部長 ◆ 心臓血管外科領域における紹介患者の症例報告 「脳梗塞を契機に発見された左房粘液腫の一例」 発表者 心臓血管外科 ◆ 泌尿器科領域における紹介患者の症例報告 「当科にご紹介頂いた放射性膀胱炎の症例」 発表者 泌尿器科部長	31	26	57
				会場 医師2名 Web 医師28名 その他1名	会場 医師14名 看護師9名 その他2名 Web その他1名	
17	R6.12.3	第59回 ポットラックカンファレンス 会場:新小山市民病院	「症例検討会」	49	10	59
				会場 医師11名 歯科医師2名 薬剤師1名 Web 医師29名 歯科医師1名 薬剤師1名 その他4名	会場 医師6名 看護師1名 その他3名	
18	R6.12.12	第23回思川運動器セミナー 会場:小山グランドホテル	「がんロコモにおける神経障害性疼痛診療の重要性」 ～腫瘍整形外科学的集学的マネージメントの観点から～ 発表者	30	1	31
				医師16名 その他14名	医師1名 (医師)	
19	R7.1.16	第52回 地域完結型医療・連携の会 Web Zoom利用 会場:新小山市民病院	各領域における紹介患者の症例検討会 ◆ 循環器内科領域における紹介患者の症例報告 「冠攣縮性狭心症疑いに対して アセチルコリン負荷試験微小血管狭窄心症の評価を施工した一例」 発表者 循環器内科 ◆ 呼吸器内科領域における紹介患者の症例報告 「マイコプラズマ肺炎の一例」 発表者 呼吸器内科 ◆ 腎臓内科領域における紹介患者の症例報告 「パラシクロビルによる急性尿細管間質性腎炎の1例」 発表者 腎臓内科	28	28	56
				会場 医師2名 Web 医師25名 その他1名	会場 医師16名 看護師8名 その他3名 Web 医師1名 (医師)	
20	R7.1.17	ALS診療を考える会in栃木 Web形式 会場:自治医科大学附属病院	「地域の救急病院におけるALSの終末期」 発表者	27		27
				詳細不明		
21	R7.2.4	腎性貧血の重要性を考える Web形式 会場:小山商工会議所 中会議室	「腎性貧血の重要性を考える」 発表者	69	1	70
				医師69名	医師1名 (医師)	
22	R7.2.4	第60回 ポットラックカンファレンス 会場:新小山市民病院	「症例検討会」	65	17	82
				会場 医師19名 歯科医師5名 薬剤師1名 Web 医師26名 歯科医師1名 薬剤師1名 その他12名	会場 医師10名 看護師1名 その他4名 Web 医師2名	
23	R7.2.13	県境の心臓を護る会 Web形式 会場:城西病院1階 会議室	「循環器疾患を通じた医療連携の現状と課題～心房細動の薬物療法を含む」 発表者	13	2	15
			「MICRA(リードレスペースメーカー)について」 発表者	医師9名 その他4名	医師2名 (医師) (医師)	

	実施日	テーマ	演題名	出席者		
				院外	院内	合計
24	R7.2.17	慢性便秘症フォーラム Web形式 会場: 持田製薬株式会社	「超高齢化社会における脳神経内科領域の便秘症診療」 発表者	7	1	8
				医師6名 その他1名	医師1名 (医師)	
25	R7.2.22	薬師寺心血管エコーセミナー Web形式 会場: 自治医科大学附属病院	「心筋梗塞の機械的合併症のエコー診断のポイント」 発表者	67	1	68
				医師46名 その他21名	医師1名 (医師)	
26	R7.3.7	Next Generation Forum Web形式 会場: 自治医科大学附属病院	「ケースから学ぶirAEマネジメント～心筋炎に備える～」 発表者	17	2	19
			「Evidenceと実臨床のギャップ」 発表者	医師17名	医師2名 (医師) (医師)	
27	R7.3.13	第53回 地域完結型医療・連携の会 Web Zoom利用 会場: 新小山市市民病院	各領域における紹介患者の症例検討会 ◆ 小児科領域における紹介患者の症例報告 「てんかん、心因性非てんかん性発作と鑑別を要した甲状腺クリーゼの14歳女子」 発表者 小児科	24	26	50
			◆ 外科領域における紹介患者の症例報告 「右大腿神経を原発とする後腹膜神経鞘腫の1例」 発表者 外科 ◆ 消化器内科領域における紹介患者の症例報告 「透析導入を契機に診断されたC型肝炎・肝細胞癌の1例」 発表者 消化器内科	会場 医師2名 Web 医師21名 その他1名	会場 医師14名 看護師8名 その他2名 Web 医師1名 その他1名	
				1,106	262	1,368

令和6年度指導者一覧

2025年3月31日

時点

No.	氏名	職種	所属	役職	臨床経験年数	特記事項
1		医師	循環器内科	病院長	51年	
2		医師	外科	副院長	34年	
3		医師	消化器内科	副院長	36年	
4		医師	循環器内科	副院長	31年	
5		医師	脳神経内科	副院長	39年	
6		医師	脳神経外科	副院長	32年	
7		医師	整形外科	副院長	31年	
8		医師	消化器内科	副部長	21年	
9		医師	消化器内科	副部長	11年	
10		医師	消化器内科	副部長	14年	
11		医師	消化器内科	医員	7年	
12		医師	消化器内科	医員	5年	
13		医師	呼吸器内科	部長	34年	
14		医師	呼吸器内科	医員	9年	
15		医師	呼吸器内科	医員	8年	
16		医師	循環器内科	第一部長	24年	
17		医師	循環器内科	第二部長	26年	
18		医師	循環器内科	副部長	22年	
19		医師	循環器内科	副部長	18年	
20		医師	循環器内科	副部長	19年	
21		医師	循環器内科	医員	4年	
22		医師	血液内科	部長	22年	
23		医師	心臓血管外科	部長	34年	
24		医師	心臓血管外科	副部長	18年	
25		医師	心臓血管外科	医員	7年	
26		医師	糖尿病・代謝内	部長	23年	
27		医師	糖尿病・代謝内	医員	8年	
28		医師	糖尿病・代謝内	医員	4年	
29		医師	腎臓内科	部長	18年	
30		医師	腎臓内科	医員	5年	
31		医師	腎臓内科	医員	10年	
32		医師	脳神経内科	副部長	20年	
33		医師	脳神経内科	副部長	16年	
34		医師	脳神経内科	医員	6年	
35		医師	脳神経内科	医員	8年	
36		医師	脳神経内科	医員	5年	
37		医師	脳血管内治療科	部長	27年	
38		医師	脳血管内治療科	副部長	13年	
39		医師	脳神経外科	部長	23年	
40		医師	外科	部長	26年	
41		医師	外科	副部長	20年	
42		医師	外科	副部長	14年	
43		医師	外科	副部長	17年	

No.	氏 名	職 種	所 属	役 職	臨床経験年数	特記事項
44		医 師	外科	医員	9年	
45		医 師	外科	医員	5年	
46		医 師	外科	医員	4年	
47		医 師	形成外科	部長	46年	
48		医 師	形成外科	医員	5年	
49		医 師	整形外科	副部長	14年	
50		医 師	整形外科	医員	8年	
51		医 師	整形外科	医員	5年	
52		医 師	眼科	医員	7年	
53		医 師	小児科	部長	34年	
54		医 師	小児科	副部長	20年	
55		医 師	小児科	副部長	18年	
56		医 師	小児科	副部長	21年	
57		医 師	小児科	副部長	17年	
58		医 師	小児科	医員	9年	
59		医 師	小児科	医員	7年	
60		医 師	小児科	医員	4年	
61		医 師	小児科	医員	4年	
62		医 師	皮膚科	部長	14年	
63		医 師	皮膚科	副部長	12年	
64		医 師	泌尿器科	主任部長	28年	
65		医 師	泌尿器科	副部長	14年	
66		医 師	耳鼻咽喉科	部長	22年	
67		医 師	耳鼻咽喉科	医員	9年	
68		医 師	麻酔科	部長	38年	
69		医 師	麻酔科	副部長	19年	
70		医 師	麻酔科	副部長	11年	
71		医 師	麻酔科	医員	6年	
72		医 師	救急科	副部長	34年	
73		医 師	救急科	副部長	15年	
74		医 師	臨床検査科	副部長	40年	
75		医 師	病理診断科	部長	42年	
76		医 師	放射線科	部長	15年	
77		医 師	放射線科	副部長	11年	
78		医 師	予防医学センター	センター長	18年	
80		看護師		看護管理	34年	
81		看護師		認知症看護認定看護師	35年	
82		看護師		感染管理認定看護師	41年	
83		看護師		緩和ケア認定看護師	31年	
84		看護師		摂食・嚥下障害看護認定看護師	28年	
85		看護師		乳がん看護認定看護師	26年	
86		看護師		皮膚・排泄ケア認定看護師	28年	
87		看護師		がん薬物療法看護認定看護師	27年	
88		看護師		救急看護認定看護師	25年	
89		看護師		がん看護専門看護師	29年	

No.	氏 名	職 種	所 属	役 職	臨床経験年数	特記事項
90		看護師		認知症看護認定看護師	25年	
91		看護師		がん化学療法認定看護師	28年	
92		看護師		感染管理認定看護師	22年	
93		看護師		感染管理認定看護師	8年	

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	事務部長
管理担当者氏名	医事課長

	保管場所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	電子カルテ、及び各部門システムにて保存	紙媒体についてはスキャンの上、電子カルテに保管後、本書は患者毎にファイル保管 (現病院で使用していた紙媒体については最大で6年間保管)
病院の管理及び運営に関する諸記録	医療連携室	医療連携室
	電子カルテ	電子カルテ
	医療連携室	医療連携室
	総務課	総務課
	医療連携室	医療連携室

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	事務部長	
閲覧担当者氏名	医事課長	医療連携室長
閲覧の求めに応じる場所		
閲覧の手続の概要 1. 登録医は医療連携室を通し、閲覧の申込 2. 医療連携室は、閲覧可能者が確認し、閲覧内容・閲覧希望日を確認。 3. 医療連携室は、医事課と合わせ、日程を調整。 4. 医事課は、閲覧日までに必要書類を準備。 5. 閲覧当日は、閲覧希望者本人かの確認をし、医事課内で希望閲覧資料を閲覧。 6. 閲覧終了後は総務課に閲覧実績を報告。		

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4 回	
委員会における議論の概要		
実績報告 （１）紹介患者に対する医療提供及び他医療機関への患者紹介の実績 （２）共同利用の実績 （３）救急医療の実績 （４）研修会の実績 （５）その他		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

新小山市民病院地域医療支援病院運営委員会 委員名簿

	所属団体および役職名	氏 名
委 員 長	新小山市民病院病院長	
副委員長	小山地区医師会副会長	
委 員	小山厚生病院名誉院長（小山市近郊地域連携協議会）	
委 員	小山歯科医師会会長	
委 員	小山薬剤師会副会長	
委 員	栃木県県南保健所所長	
委 員	小山市保健福祉部健康増進課課長	
委 員	小山市消防本部副署長	
委 員	新小山市民病院副院長	
委 員	新小山市民病院看護部長	
委 員	新小山市民病院事務部長	
事 務 局	新小山市民病院医療連携室・事務部総務課	

第1回 新小山市民病院 地域医療支援病院運営委員会 次第

日時:令和6年5月15日(水)13:30～
場所:新小山市民病院 さくらホール

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事

1) 令和5年度の実績報告

- (1) 紹介患者に対する医療提供及び他医療機関への患者紹介の実績
- (2) 共同利用の実績
- (3) 救急医療の実績
- (4) 研修会の実績
- (5) 相談窓口の実績

2) その他

4. 閉会

次回開催予定
・令和6年8月21日(水)

**令和6年度 第1回 新小山市民病院地域医療支援病院運営委員会
会 議 要 旨**

日 時 令和6年5月15日（水）午後1時30分～午後2時30分
場 所 新小山市民病院 2階 さくらホール
出席者 委員長 副委員長
 委 員

1. 開 会

2. 新委員自己紹介

3. 挨拶

4. 委員長、副委員長選出

5. 議 事

1) 令和5年度の実績報告

- (1) 紹介患者に対する医療提供及び他医療機関への患者紹介の実績
- (2) 共同利用の実績
- (3) 救急医療の実績
- (4) 研修会の実績
- (5) 相談窓口の実績について
- (6) 質疑応答

○精神科との連携について

- ・精神疾患合併の患者受け入れについて、何か困っていることはないか。
各病院・診療所では躊躇されているところや、受け入れを困難としているところもある。
- ・ベースに精神疾患がある患者さんでも、入院も外来受診も受け入れている。入院した後の薬の調整などは、精神科の先生と相談して内服の継続など対応している。

○歯科との連携状況について

- ・周術期口腔機能管理、手術1ヶ月前に新小山市民病院から紹介状をいただいて、報告書と計画書も同封していただいて患者さんが来院される。
実際100%返ってきているのか。

- ・100%までは至っていない。紹介状をこちらから患者さんにお渡しをして、患者さんが歯科へ受診をして、手術前に入院で当院に来た時に、それが最終から手術まで1ヶ月と規定がある。そこを1ヶ月過ぎてしまったというケースが何件かあった。恐らく患者さんが提出を忘れてしまって、報告書と計画書が届かなかったというケースもあったので、そこらは当院から各歯科さんに連絡をして作成を依頼している。その辺は徹底して行って、歯科さんに協力いただこうと思っている。あと、当院で手術をするつもりで受け入れたが、検査をしたところ大学病院で手術してもらった方が良いのではということで、他の病院で手術といったケースもあった。そういったケースがあると100%にはならないが、ほぼお返事はいただいているので、大変感謝している。
- ・報告書まで病院側から用意してもらっている状況なので、統計の中に未返書率を出していただければ、歯科医師会側から各歯科に返事を出すように徹底することはできる。

○共同利用の実績について

- ・共同利用を行った医療機関36となっているが、年々医療機関数は増加しているのか。共同利用をしている診療科の多い少ないはあるのか。
- ・医療機関数については、それほど目立って増減はない。常勤の放射線科医がいなかったときは減少傾向であったが、現在は戻っている。診療科については調べていなかったなので、次回報告する。
- ・医療機関で良く紹介してくれる先生方が数を増やしてくれているのが現状だと思う。
- ・わたしも利用させてもらっているが、大変ありがたく思っている。医師会の先生方にも利用してもらって広がっていくと良いと思っている。

○救急車収容不能理由について

- ・収容不能理由の内訳で、その他で一番多いのが、各地元の医療機関にまずは救急搬送の依頼をとることだが、別の資料で市外の患者さんが増えているとあるが、新小山市民病院としてどのくらい困っているのか。また、救急車はどうして地元の病院に依頼をしないで新小山市民病院に電話をしてくるのか。
- ・6ページの資料は、あくまで一般の外来も含めての数値となっている。救急車の台数はこれをそのまま反映しているものではない。ここ数年の救急車の台数は、筑西市や下野市などの市外からのパーセンテージはほとんど変わっていない。割合的には同じだが、全体的に救急搬送が多くなっている。逆に言うと結城病院や城西病院は、かなりの数の小山市の

患者さんを受けてくれている。当院が受けられない患者さんは他の地区の病院がを受けてくれているので、今のところ、この近隣の地区は上手くいっている。

- ・救急で何分待たせたとか、収容まで何時間もかかったとか、そういうことはこの地域では生じていないということか。
- ・小山消防のデータで、新小山市民病院は昨年1月～12月までで3,454名収容していただいている、結城病院622名、城西病院629名、友愛記念病院255名収容していただいている。トータルで8,981名が搬送されているが、小山地区医師会の病院以外で約1,400名収容していただいている。時間や回数のデータもあり、新小山市民病院は昨年は、4件以上の問い合わせで受けてもらったのが重症5名、中等症が93名、軽症が189名、死亡例で70名となっている。軽症だと最大で、13件かけて新小山市民病院で受けてもらったというケースがあった。30分以上かかったケースは重症44名であった。重症例でも30分以上滞在というケースもあった。三次救急だと思って、自治医科大学附属病院に問い合わせをしても、まずは新小山市民病院にあたってくださいと言われることもある。
- ・新小山市民病院を中心として、管内や周辺の病院を含めた救急搬送については、特に大きな問題はなく進んでいると伺える。
- ・大きな問題はないが、絶対数が増えていて、当院としては様々な問題を抱えている。数値だけで議論すると問題の核心がぶれる可能性があるもので、これからは、実際どういう在り方が良いのかを関連しながら、我々や消防、行政も含めて考えていかないといけない時期になっている。昨日、市で健康プランの話があったが、特に高齢者の救急搬送が多くどうしたら良いか話題になった。救急車の搬送台数は、当院は現在県内3位であり、数の部分で限界にきている。内容的な検討をしていかなければいけない。
- ・高齢者の救急搬送が増えているという話があったが、8ページの救急患者の入院受け入れが74%と大変高い数値となっている。介護施設の入所者が具合が悪くなった時に、みんな新小山市民病院に搬送依頼をしてくるとまずいと思う。そういうところの分担を地域で考える必要がある。どの段階でトリアージをするのか、消防隊が考えるのか、予め病院間で役割分担を決めておくのか、今後検討する必要があると思う。
- ・各病院の統計がでていますが、どこの病院も70～90代の救急搬送が増えている。60代未満は搬送件数が落ちている傾向にある。ところが、当院は40～50代の急性期の搬送が増えている。その中で、施設の高齢者も搬送されてくる。当院は地域医療支援病院として急性期的病院の

在り方を要請されている。そういう方向に特化しつつ、介護施設に関しては、他の医療機関とどういう分担をし合うのかという話しになる。国でもこの辺りは大きな中心テーマになっていて、介護施設の連携医が点滴等をしてそこで留めてもらうなど、そういうことを定着していかないといけない。

- ・ 100歳を超える高齢者等で、家族は施設に預ける時には何もしなくて良いと言っているが、施設の人が救急になると救急車を呼んでしまう。これからはACPをしっかりと施設で取っていただいて、それでもどうしても救急治療が必要という方に関しては、救急搬送してもらって、夜中は他の病院が受けられないにしても、例えば日中は誤嚥性肺炎、圧迫骨折、尿路感染であれば受けますという病院と当院で契約のようなものを結んで、夜はなんとか当院で受けて、次の日には別の病院に転院していただくような仕組みができると良いと思う。実際、今回の診療報酬改定で点数もつくようになった。
- ・ ACPの話しがあったが、行政で介護施設向けに色々研修をやっていて、話しを聞くと、入所の時は家族は救急にしないでいいと言うが、いざそれで救急車を呼ばないと、あとで責められるなどがあるのでどうしても救急車を呼んでしまう、という現場の話しを聞いたことがある。あとは、入所した時に聞いても長い間で気持ちが変わってくることもあるので、ある程度まめに意思確認をしなければいけないという話しをしている。施設の管理者向けに研修をやっても現場に伝わっていないという話しもあるので、現場のスタッフにもACPの教育を合わせてやっていくことが大事だという話しはある。研修や会議を進めているので、その辺をもっと充実していければと思っている。
- ・ これからの高齢化社会のなかで、本人と周りの人が、人生を見据えた上で話し合っていくことが必要だと感じる。

最後に事務局より、次回の本委員会を令和6年8月21日（水）開催する予定であることを案内し、閉会した。

第2回 新小山市民病院 地域医療支援病院運営委員会 次第

日時:令和6年8月

場所:書面案内

1. 議事

1) 令和6年4月～7月実績報告

(1) 紹介患者に対する医療提供及び他医療機関への患者紹介の実績

(2) 共同利用の実績

(3) 救急医療の実績

(4) 研修会の実績

(5) 相談窓口の実績

次回開催予定

・令和6年11月20日(水) 13:30～

第3回 新小山市民病院 地域医療支援病院運営委員会 次第

日時: 令和6年11月20日(水) 13:30～

場所: 新小山市民病院 さくらホール

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

1) 令和6年8月～10月の実績報告

(1) 紹介患者に対する医療提供及び他医療機関への患者紹介の実績

(2) 共同利用の実績

(3) 救急医療の実績

(4) 研修会の実績

(5) 相談窓口の実績

2) その他

(1) 令和5年度 決算に関する報告

4. 閉会

次回開催予定

・令和7年2月19日(水)

令和 6 年度 第 3 回 新小山市民病院地域医療支援病院運営委員会
会 議 要 旨

日 時 令和 6 年 1 1 月 2 0 日 (水) 午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 3 0 分
場 所 新小山市民病院 2 階 さくらホール
出席者 委員長
委 員

1. 開 会

2. 新委員自己紹介

3. 挨拶

4. 議 事

1) 令和 6 年 8 月～1 0 月の実績報告

- (1) 紹介患者に対する医療提供及び他医療機関への患者紹介の実績
- (2) 共同利用の実績
- (3) 救急医療の実績
- (4) 研修会の実績
- (5) 相談窓口の実績について
- (6) 質疑応答

○歯科との連携について

- ・ 歯科医療機関連携加算 1 (紹介のみ) と歯科医療機関連携加算 2 (予約・紹介) があるが、相談室から歯科医療機関へ連絡をして予約を取る流れになっていると思うが、これは実際、予約が取れなかったから 1 加算が多いのか、それとも最初から予約を取ろうとしていなくて 1 加算が多いのか。どちらのパターンなのか。
- ・ 最初からかかりつけ医があるからと、自分で予約するといったケースが多かった。
- ・ 新小山市民病院からかかりつけの歯科に電話を入れると歯科医療機関連携加算 2 (予約・紹介) になったりするのではないか。
- ・ おっしゃる通りです。
- ・ 病院から連絡をもらおうと、我々歯科医師も予約をなるべく入れようと思うので、積極的に動いていただいた方が歯科医療機関連携加算 2 が取れると思う。

- ・はい。ありがとうございます。
- ・やはり、かかりつけ医との連携が多いのか。それとも全くかかりつけなしで歯科医療機関に依頼することもあるのか。その場合、その問い合わせは患者の希望なのか、あるいは何かを配慮した医療機関の紹介をしているのか。
- ・患者さんの希望を一番に聞いている。かかりつけではないけれど、受診したことがあるとか、歯科の場合だと何回か通院が必要になってくるので、近所で通いやすい所を案内している。どこか特定の所ということはないので、偏っていることもないと思う。

○精神科の紹介について

- ・精神疾患の紹介先を探すのにすごく困っている。精神疾患について、かかりつけ医を持っていない患者については、主にどういうところに紹介しているか。
- ・資料の連携加算の件数はクリニックが3件であった。小山メンタルクリニックが件数としては、一番多いと思う。
- ・我々の診療所からでは、精神科クリニックは簡単に診てくれない。小山富士見台病院や朝日病院、自治医科大学附属病院や獨協医科大学病院へ頼み込むしかないなので、個人のクリニックが診てくれるのは意外な気がする。
- ・入院を含めたという時には、朝日病院や小山富士見台病院へ紹介している。
- ・最近では、暴れてすぐに精神科に送らないといけないという患者さんは、昔に比べるとそんなにいない。昼間に受診をして、そこまで急ぎではない患者が多い印象である。逆に、精神科からこちらの病院への紹介が多い。こちらから送る場合は、受けてもらえなくて困ったということとはそんなに聞かない。メンタルクリニックで十分間に合うケースが多かったということだと思う。
- ・うつ病、自殺企図があるような患者が、結構クリニックには来る。いつも搬送先について時間がかかっているので、参考までに聞かせてもらった。
- ・自傷疑いなどであれば、宇都宮の岡本台病院が県の指定で措置入院など対応している。精神保健福祉法の関係で警察通報で動いてもらえることもある。
- ・県の救急病院の指定するアルゴリズムがあるのだが、それだと一病院で受けないといけない件数がものすごく多い。精神科に送らないといけないという患者は重症の人だけで、そういう患者以外はこういう病

院で受けるようになっていいる。ところが当直医はオーバードーズや自殺企図など色々あると思うが、そういうのも受けたくないという医師が多いので、実際は自治医科大学附属病院へ送っているのが多いと思う。岡本台病院だけではなく自治医科大学附属病院へ行っているのも多いと思う。

- ・自治医科大学附属病院の救急で取ってもらっているケースの方が多い。また、朝日病院はかかりつけの患者あれば、内科的な部分を別の病院で否定してもらえれば、引き取りますと夜間でも対応していただいている。
- ・小山富士見台病院と当院の関係は、今までそこまで交流がなかったが、この地区の精神科の患者さんのことを考えると、本当はもう一つ踏み込んで、情報交換などもう少しやったほうが良いと思う。常時、精神的な患者はいるので、それを宿題として考えておこうと思う。
- ・県外であれば、猿島厚生病院でも措置入院的な対応していただける。小柳クリニックや小柳病院はかかりつけであればというケースは受けていただいている。
- ・精神医療については、先生方から精神科の病院へ直接繋ぐことがあるとのことだが、医療相談で、保険で繋ぐことがあった時に、普段の生活はできるけど、精神の見守りや保険が必要ということであれば、小山市や下野市の健康作りの担当で、保険・精神障害にも対応した地域包括ケアということでやっている。措置入院ということであれば、保健所でも対応しているので、重層的に色んな層で支援できればと思っている。

○マイコプラズマ肺炎について

- ・コロナも下火になってきて、インフルエンザが流行り出しているが、もっと激しいのはマイコプラズマ肺炎である。20年くらい前、オリンピックの年になぜかマイコプラズマ肺炎が流行する。ここ20年はそれが少なくなって、コロナの間は全くいなかった。なぜ今年になって類をみないくらのスピードで増えているかというと、マイコプラズマ肺炎の症状が、最初は少し熱が出て、その後咳が出始める。若年層が多く、肺炎はひどいのに本人はそんなに体調が悪くないので、普通に仕事をしてそこから感染するのだろう。異常に増えている要因は観光の外国人で、2,000万人程いて、世界中から持って来ている。今まではマイコプラズマ肺炎は、マクロライド系のクラリスロマイシンやアジスロマイシンで抑えられたが、今は6割がマクロライド耐性菌で、外国人が持って来て異常に増えている。

- ・ちなみにマクロライド系が効かない場合は、何を処方したら良いのか。
- ・テトラサイクリン系が良い。ミノマイシンも非常に良く効く。
- ・ビブラマイシンはどうか。
- ・ビブラマイシンも効く。
- ・本日来る前に、下野市内の中学校でマイコプラズマ肺炎で学年閉鎖をするところが出たと報告があった。流行っているということで、情報提供である。

○共同利用について

- ・令和元年当時と比べると、医療機関数や利用総数が半減している。一部の医療機関だけに偏ってしまった印象があるが、いかがか。
- ・放射線科の専門医が、一時期病院から退任され、共同利用が減り続けていたが、今年は上半期で医療機関数 35 病院、共同利用総数 564 件なので、恐らく令和元年度レベルに戻りつつあると思う。令和3年度、令和4年度を底にして、放射線科医が2人着任したので、元に戻ってくると思う。

2) その他

- (1) 令和5年度決算 令和6年度上半期収支状況に関する報告
- (2) 新小山市民病院 別館建設事業について

最後に事務局より、次回の本委員会を令和7年2月19日（水）開催する予定であることを案内し、閉会した。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他（診察室）
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	社会福祉士・看護師
患者相談件数	1, 576件
患者相談の概要	
相談内容は6つのカテゴリに分類 ・逆紹介以外の医療相談(221件)…外来診療に関すること、入院や転院に関すること、他機関との相談や依頼、その他 ・医療費(68件)…健康保険に関すること、医療費助成制度に関すること、外来・入院の医療費について、交通事故に関すること、労災・支払い方法、その他 ・介護保険(180件)…介護保険に関すること、高齢者福祉に関すること、介護者・介護手当、疾患についての相談、入院・外来患者の支援（特に認知症関連）、ケアマネージャー（CM）や地域包括支援センター（包括）との相談や依頼、その他 ・福祉相談(181件)…生活保護、身障者、精神障害、特定疾患、行政と連携、その他 ・逆紹介を含めた通院相談(127件)…地域完結型医療に関する説明、かかりつけ医選定、通院・入院に関するもの、病院・医院の情報、医師からの依頼、その他 ・がん相談(488件)※再掲 ・その他(311件) 対策について 窓口として適切な部署に振り分けると共にできるだけワンストップで解決できるよう配慮しています。 ※別紙参照	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式例第19-2) 地域における医療の確保を図るために特に必要であるものとして都道府県知事が定めた事項

都道府県知事が定めた内容
なし
実施状況
なし

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人日本医療機能評価機構 2021年3月 (主たる機能: 一般病院2 機能種別版評価項目3rdG: Ver. 2.0) 認定期間: 2020年10月2日~2025年10月1日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 新小山市民病院診療科案内…年1回発行(連携医療機関に配布) 新小山市民病院ニュースレター(医療機関向け広報)…年4回発行(連携医療機関に配布) 新小山市民病院だより(一般向け広報)…年4回発行(小山市広報に同封し小山市民に配布) ひととのや(院内広報紙)…年4回発行(来院者向けに院内に設置し配布) 以上の広報はホームページで閲覧可、当院公式LINEアカウントで配信 他当院公式ホームページ及び当院公式Facebookページ、当院公式LINE、当院公式Instagramにより情報発信	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・ 退院調整部門の概要 入退院支援室・医療相談室が連携し、退院調整看護師、社会福祉士が協働している。 ・ 入院直後全患者にスクリーニングを行い、退院支援の必要な患者を抽出し、退院支援計画書を作成 ・ 計画書に基づき、担当ケアマネージャーと連携、情報を共有し、退院前に病棟にてカンファレンスを実施 ・ 自宅退院の場合には、介護保険の調整、訪問診療、訪問看護の調整 ・ 転院、施設入所の調整	

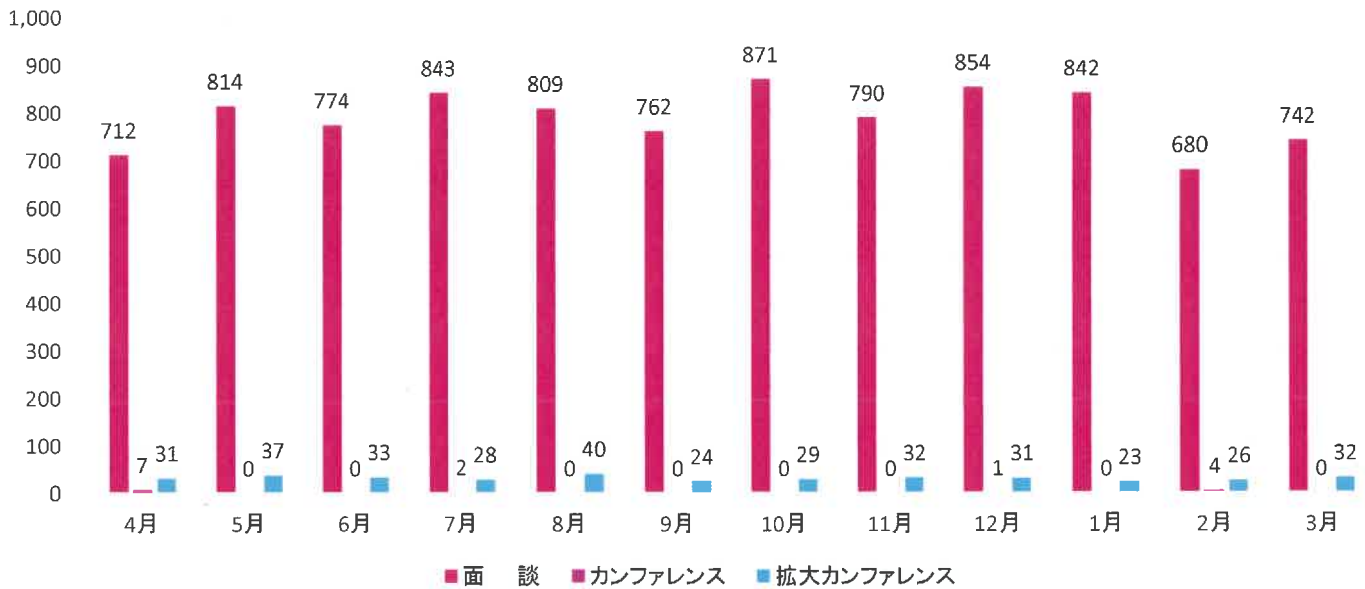
4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 脳卒中地域連携パス 大腿骨頸部骨折地域連携パス ・ 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 連携病院との定期的な情報交換を行っている。	

令和6年度 入退院支援状況

入退院支援室 活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面 談	712	814	774	843	809	762	871	790	854	842	680	742	9,493
カンファレンス	7	0	0	2	0	0	0	0	1	0	4	0	14
拡大カンファレンス	31	37	33	28	40	24	29	32	31	23	26	32	366



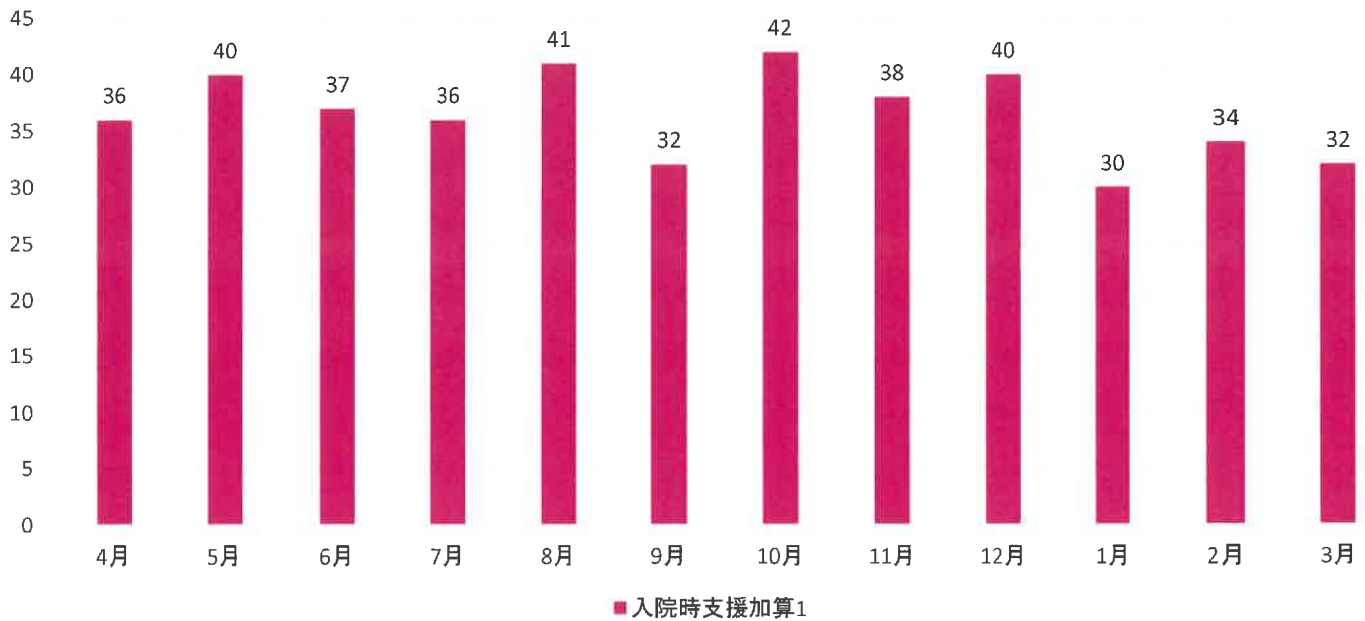
入退院支援加算1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入退院支援加算1	357	346	349	357	350	361	380	367	418	348	325	390	4,348



入院時支援加算1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院時支援加算1	36	40	37	36	41	32	42	38	40	30	34	32	438



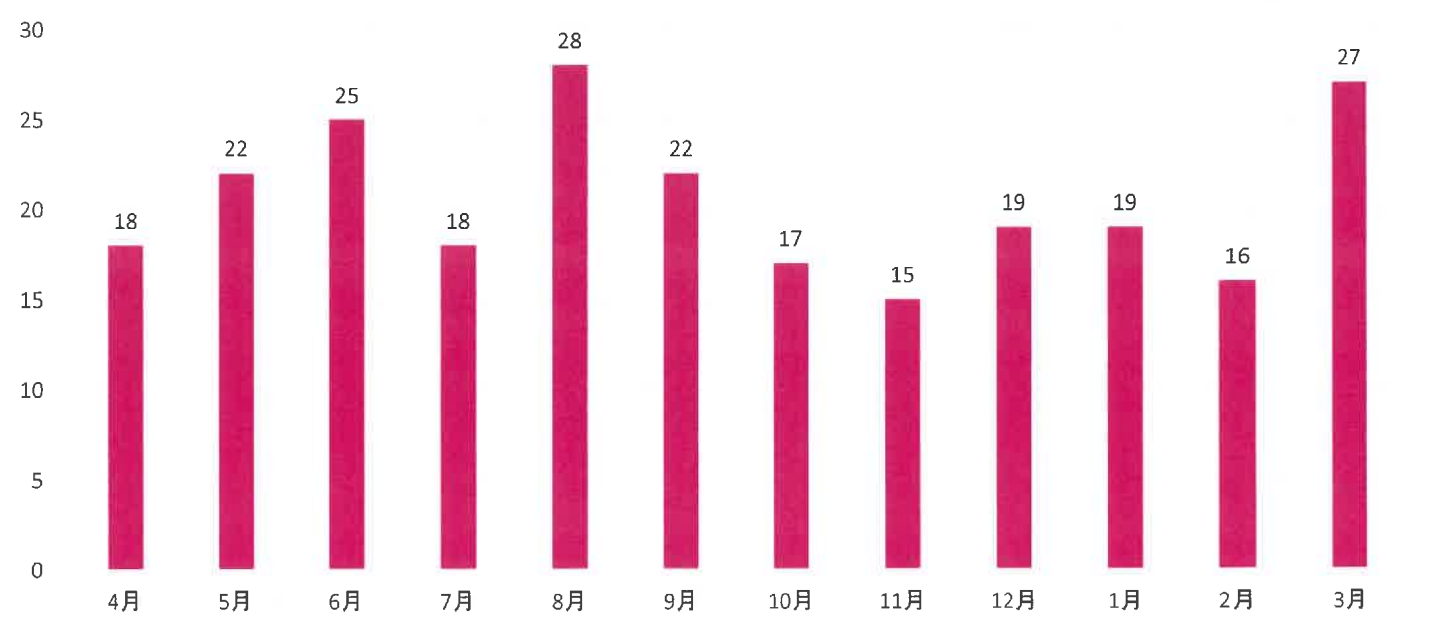
退院時共同指導料2

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退院時共同指導料2	10	13	12	10	8	16	12	7	10	8	7	4	117



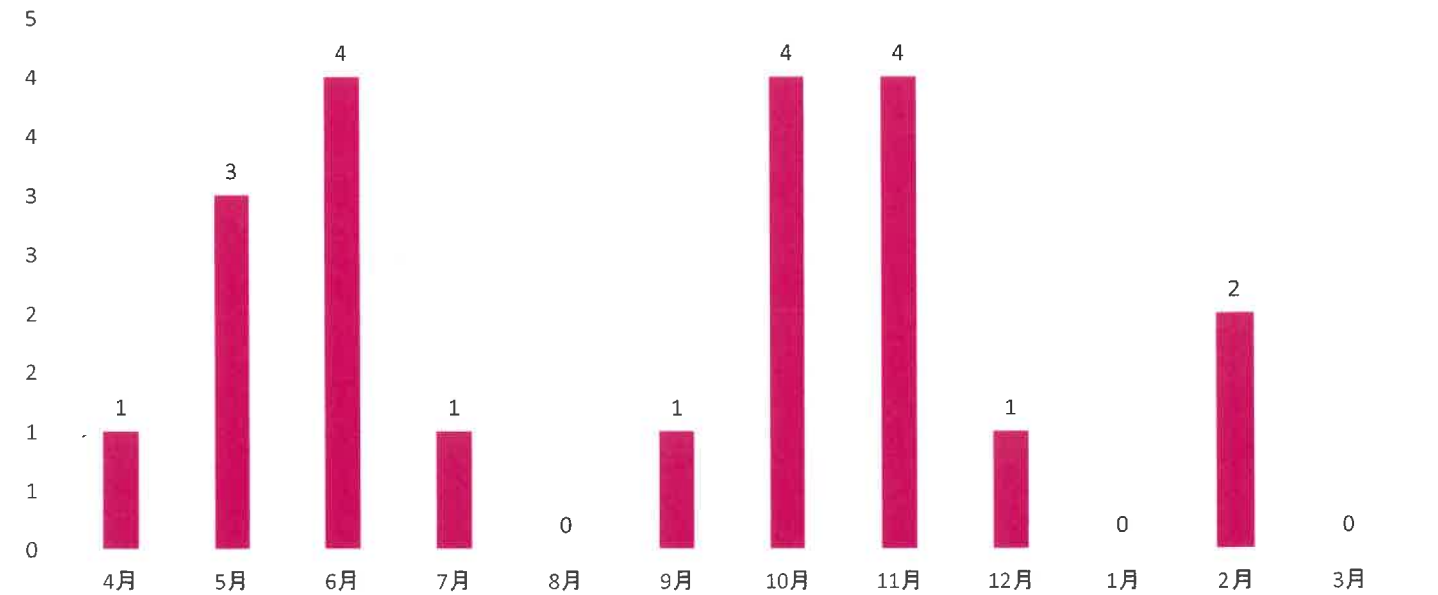
介護支援等連携指導料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護支援連携指導料	18	22	25	18	28	22	17	15	19	19	16	27	246



多機関共同指導加算

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
多機関協働指導加算	1	3	4	1	0	1	4	4	1	0	2	0	21



在宅患者緊急入院診療加算(2,500点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在宅患者緊急入院診療加算(2,500点)	8	6	2	8	5	5	5	3	7	4	2	4	59



在宅患者緊急入院診療加算(2,000点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在宅患者緊急入院診療加算(2,000点)	0	2	1	0	0	0	0	0	3	2	2	0	10

